

皆さんこんにちは、VSC学生スタッフ（通称：学スタ）です。我々学生スタッフはサークルではなく、VSC（ボランティア・市民活動支援センター）の一員として学生ボランティアを支援する活動を行っています。この新聞では、皆さんに学生スタッフの活動を知ってもらおうと同時に、ボランティア活動のイメージを持ってもらうことを目的に発信しています。一人でも多くの方に学生スタッフやボランティア活動の魅力を知っていただけたら嬉しいです。また、興味のある活動がありましたら、学スタメンバーと一緒に活動しましょう！活動を知りたい学生はVSCに連絡をください。メンバー一同、お待ちしております。

コロナ禍での“できた”を発表！～地域創造フォーラム～

令和3年3月6日(土)、高崎商科大学で行われた『地域創造フォーラム 2021』に参加しました。今回のテーマは「ニューノーマルな地域連携～コロナ禍で見えてきた地域連携のたいせつなコト～」でした。第Ⅰ～Ⅲ部あり、第Ⅰ部では、西川一弘氏(和歌山大学准教授、紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus)の基調講演を聞きました。教員が学生に代わってフィールドワークを行い、結果を学生に共有する逆フィールドワークのお話を聞き、オンライン授業ならではの工夫された点だと思いました。第Ⅱ部では、私たちを含めた3大学4組が活動発表を行いました。コロナ禍で普段通りの活動はできませんでしたが、オンラインで行うという新しい方法に取り組めて良かったことを報告しました。また、他大学の活動も知ることができました。第三部では、「コロナ禍で見えてきた地域連携の大切なこと」についてパネルディスカッションが行われました。コロナ禍における大学地域連携の多くの課題について議論が交わされました。第Ⅰ～Ⅲ部を通してコロナ禍で活動していく上で大切なものを見つけられました。



【文責】柏木 美咲(栄3)

ボランティアの輪が広がった！つながった！～ボラカフェ～

令和3年5月6日～5月20日の約2週間、9号館(人間発達学部棟)1階にあるVSC前学生ホールでボラカフェを開催しました。ボラカフェはボランティアを行っている学生団体と興味のある学生が交流する場で、学生スタッフが主催しています。今年は、主催者である学生スタッフをはじめ、和太鼓集団「舞」・災害復興支援団体「わたりば」・アカペラ部 K-lingen・学習塾 HOPE・車いすバスケットボール・ベルマーク回収グループ「べるふぁみ」・猫部と、8つの学生団体に参加してもらいました。今年度



は zoom と対面の両方を用いて行い、結果、多くの一般学生が参加してくれました。ボラカフェ後に学生個人と学生団体向けに行ったアンケートでは、参加満足度が高く、ボラカフェの目標である「ボランティアに興味を持ってもらう」「学生団体の活動に興味を持ってもらう」の2つを達成することができたと感じました。来年度も多くの学生に興味を持っていただけるように力を入れてきます。

【文責】北川 朱里(福2)



子どもたちと楽しい時間を共有！素敵な思い出に！～オンライン子ども交流～

令和3年3月29日(月)・30日(火)に、放課後児童クラブ『じいじとばあばの宝物』の子どもたちと Zoom を用いて交流会を行いました。『じいじとばあばの宝物』は、本庄市と伊勢崎市の2か所にあるため、29日は『いせさき宮郷』、30日は『本庄のおうち』と、2日にわたりそれぞれ Zoom を繋げて遊びを実施しました。

この活動は、「緊急事態宣言により、直接関わることができない学童の子どもたちとオンライン上で交流を図り、楽しい時間を共有すること」と、「子どもたちの遊ぶ場所や方法に制限がかかる生活が続いているため、オンライン交流という新しい手段で、『じいじとばあばの宝物』との繋がりを途絶えないようにすること」を目的とし企画・実施しました。

私たちが考えた遊びの内容は、絵描き歌・ラーメン体操・間違い探し・イントロクイズです。学生スタッフを3班に分け、それぞれ2つの遊びを企画し、学年問わず、子どもたちが楽しめるように試行錯誤を重ねました。本番の2日間は、子どもたちが元気よく遊びを楽しんでいる姿を見て、私たちも自然と笑顔になり、楽しむことができました。オンラインならではのトラブルもありましたが、臨機応変に対応することができて良かったです。子どもたちから、「面白かった！」

「もっとやりたい!」「次は学童に来てもらいたい!」など、たくさんの言葉を頂きとても嬉しかったです。交流会後に、学童側からアドバイスを頂いたので、今後の活動に向けて生かしていきたいと思います。

【文責】神立 愛里子(福2)



不思議な世界に魅了された！～中之条ビエンナーレ～

令和3年5月22日(土)、中之条ビエンナーレ展示作家に対する協力ボランティアを行いました。

「中之条ビエンナーレ」とは、少子高齢化や過疎化が進む小さな町「中之条」を舞台に、ふるさとの魅力をアートの力で発信する地域おこしイベントです。アーティストの方が中之条町に滞在し、地域との交流を通して伝統文化や芸術、自然などの地域資源に触れる中で多様な作品が生み出されます。開催期間中はそれらの作品を町内各所で楽しむことができます。



私たちは、芸術家の方の作品作りに携わらせていただいたほか、草木染め体験もしました。芸術家の方の作品にかかわる、という滅多にない貴重な機会に心躍りました。さらに、展示してある作品の見学もさせていただきました。国内のみならず、海外から多くの出展があり、たくさんの刺激を受けました。

この中之条町ビエンナーレは、令和3年9月11日(土)から10月11日(月)に開催されます。皆さんもぜひ足を伸ばしてみてください。

【文責】小中 寧々(福2)